



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2014 **11**



10月9日(木) 兵庫県民会館において「2014年度 兵庫県生協大会」を開催。表彰式のあと、「語り継ぎたい。命の尊さ」と題して、NHK 大阪放送局 アナウンサー 住田 功一 氏が講演。震災を語り継ぐことの大切さや、次の災害への備えについて、会員生協の組合員、役職員など 300 名がともに考えるひとときとなりました。(関連記事 P.3)



神戸市立工業高等専門学校生活協同組合  
専務理事

中川 一穂  
(なかがわ・かずほ)

## 生協が果たす役割

神戸高専はわが国の「ものづくりに」を支える実践的な技術者を育成するために、昭和38年に神戸市立六甲工業高等専門学校として設立されました。その後、現在の名称に変更し、平成2年より現在の西区学園都市に校舎を移しました。学内人口は学生約1300名、教職員約130名と、高等専門学校としては全国でも大きな規模を誇ります。その中に15歳から専攻科生を含めると22歳までの幅広い年齢の学生が学びを共にしており、当然ながら学生からの要望は多岐に渡ります。例えば「教科書や教材を安く買いたい」「おいしい食事が食べたい」など自身の学びや生活を充実させたいという思いを持つっており、当時は学内における福利厚生者の改善が急務でした。それらの要望を実現すべく、今から約7年前に神戸高専生協が設立されました。主な事業は食堂と購買の店舗運営を軸に据え、学生共済活動、教科書・教材教具の斡旋、教職員の研究備品の調達などがあり、日々、組合員の学校生活の充実を目的とした事業活動を行っております。また、学

生有志による委員会活動も活発に行われており、生協としては小さい規模ながら22名の生協学生委員が、組合員と生協を繋ぐ橋渡し役として活躍しております。未だ組合員からの要望に一部お答えすることは出来ておらず、「組合員が理想とする生協」に到達できておりませんが、徐々にではあるものの、そこに近づいていくという実感はあります。この7年で「学校の理念の実現に協力し、組合員の学校生活の充実に貢献する」という生協の役割が明確化されたと思っております。この度、組織体制の変更に伴い、平成23年に理事長を退任後、3年間のブランクを経て専務理事という立場で再び生協に携わることとなりました。教員と生協の専務理事という二足の草鞋を履きながらではございますが、今後も職員と協力しながら学内の福利厚生者の充実に貢献し、多くの組合員に「生協があっけよかった」と言ってもらえるよう、邁進してまいります。

## CONTENTS

2. 想点
3. 2014年度「兵庫県生協大会」報告
4. 第3回理事会 報告／第13回兵庫県企画県民部と  
兵協連理事会との懇談会 報告  
単協通信 神戸市民生活協同組合

5. 単協通信 兵庫労働共済生活協同組合／  
近畿労働兵庫兵庫地区統括本部
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ
8. 「ポスト国際協同組合年を考える集い」報告／  
県連日誌／編集後記

# 兵庫県生協大会を開催

## 協同が息づく兵庫のまちづくり

### 協同組合がよりよい社会を築きます

10月9日(木)、兵庫県民会館において、2014年度兵庫県生協大会を開催。会員生協の組合員、役員など300名がつどいました。

●毎年10月は「生協強化月間」。全国の生協で「活動や事業について知っていただき、生協の輪を広げるための催し」が行われます。

第一部・記念式典は、甲南女子大学生生活協同組合専務理事塩田恵美さんの司会で始まり、主催者を代表して兵庫県生協連本田英一会長理事が挨拶。引き続き、ご来賓の兵庫県知事井戸敏三様よりご挨拶をいただき、最後に「生活の豊かさめざし協同の仲間をつくる 組合活動」と一首詠まれ、協同組合へのエールを送られました。その後、神戸市市民参画推進局市民生活部部長清家久樹様、兵庫県議会議長梶谷忠修様より、それぞれ生協への期待をこめられたご祝辞をいただきました。続いておこなわれた表彰式では、永年生協の発展に寄与された3人の会員生協役員に生協功労者表彰として「兵庫県

知事感謝」が贈られました。また、生協業務に精励した22名の役員に「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られ、会場の参加者は大きな拍手で祝いました。

第二部は、「語り継ぎたい。命の尊さ」と題して、NHK大阪放送局アナウンサー住田功一氏が講演。「語り継ぐ」とは、語る方の体験や想いを受け止めて、他の人に伝えること。「阪神・淡路大震災の時、何ができて何ができなかったのかを考えることで、次の災害への備えになる」など、震災時の取材活動の様子をスライドとともにご講演いただきました。また、会員生協による「健康チェック」や「公財」兵庫県健康財団「兵庫県フェ

ニックス共済」「兵庫労働共済生活協同組合」の取り組み紹介のほか、「チームやんだくない」「NPO法人都市生活コミュニケーションセンター」による東日本被災地支援バザーも行われ、多くの参加者でにぎわいました。



井戸敏三 兵庫県知事



神戸市 清家久樹 部長



兵庫県議会 梶谷忠修 議長



講演される NHK 大阪放送局 住田 功一 氏



医療生協による健康チェック



東日本被災地支援バザーも好評

## 2014年度 兵庫県生協大会 表彰

### ■兵庫県知事感謝

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
たじま医療生活協同組合	朝倉 宣征
生活協同組合コープこうべ	三上 清久
姫路医療生活協同組合	西村 哲範

### ■兵庫県生協連合会会長表彰

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	若林 敏夫
生活協同組合コープこうべ	西山 宏
生活協同組合コープこうべ	田中 浩太郎
生活協同組合コープこうべ	熊谷 和雄
生活協同組合コープこうべ	西保 昇
生活協同組合コープこうべ	隠岐 健太
生活協同組合コープこうべ	藤岡 明生

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	紀伊野 仲之
生活協同組合コープこうべ	池田 隆
生活協同組合コープこうべ	徳重 真司
生活協同組合連合会大学生協阪神事業連合	大野 いずみ
神戸医療生活協同組合	湧谷 純
神戸医療生活協同組合	南 恵津子
神戸医療生活協同組合	喜田 照和
尼崎医療生活協同組合	尾形 泰規
尼崎医療生活協同組合	大岩 陽子
尼崎医療生活協同組合	加納 良一
宝塚医療生活協同組合	山本 義雄
ひまわり医療生活協同組合	林 和雄
神戸市民生活協同組合	木村 江理子
西宮市民共済生活協同組合	白井 浩
兵庫労働共済生活協同組合	荒木 一弥



# 2014年度 兵庫県生協連 第3回理事会報告

【開催日時】 2014年10月6日(月)  
午後2時55分～4時12分

協議事項 なし

【開催会場】 兵庫県民会館  
12階「1201」

【出席者】 本田会長理事、  
寺尾副会長理事、  
三宅専務理事、  
板崎、高橋、福島、新保、  
伴、大沼、酒井、林田、  
嶋、本多（以上、理事）、  
藤田、金丸、木田  
（以上、監事）

報告事項

- (1) 兵庫県と協働「消費者トラブル防止啓発事業」の進捗について
- (2) 兵庫県と協働「阪神・淡路大震災20年事業」の進捗について
  - ①「震災20年・兵庫JCC記念大会等開催実行委員会」の事業計画
  - ②「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い(9/26)」の内容
  - ③「兵協連災害対策委員会(9/17)」実施内容
  - ④兵庫県生協大会(10/9)タイムスケジュール及び来賓参加者について
- (3) 「会員生協の概況報告」について、各出席理事・監事より報告
- (4) 前回理事会～10月上旬までの兵協連行事、活動報告
  - ①ピースアクション「広島被爆ピアノ平和コンサート(8/20)」の内容
  - ②「兵庫JCC幹事会(9/1)」開催内容について
  - ③兵協連第3回「生協活動委員会(9/11)」報告について
  - ④兵協連主催「9月度 被災地支援活動(9/12～13)」報告について
- (5) 2015年「新春トップセミナー」計画について
- (6) 兵庫県企画県民部消費生活課との懇談会及び懇親会について

## 第13回 兵庫県企画県民部消費生活課と兵協連理事会との懇談会 報告

【開催日時】 2014年10月6日(月)  
午後4時25分～5時34分

【開催会場】 兵庫県民会館  
12階「1201」

【出席者】

- 兵庫県：有本課長、雁金副課長、西谷主幹、河本主査
- 兵協連：本田会長理事、寺尾副会長理事、三宅専務理事、板崎、高橋、福島、新保、伴、大沼、酒井、林田、嶋、本多（以上、理事）、藤田、金丸、木田（以上、監事）

①挨拶および県下生協の現況について

兵協連 本田 英一 会長理事

②（地域・職域購買生協）「消費者問題に関する組合員活動報告」

兵協連 伴 智代 理事（コープこうべ 理事）

（大学生生協）「県下の大学生協からの報告」

兵協連 寺尾 善喜 副会長理事（大学生協阪神事業連合 専務理事）

（医療生協）「医療福祉生協の状況」

兵協連 板崎 聡 理事（神戸医療生協 専務理事）

（共済生協）「神戸市民生協の現況」

兵協連 嶋 秀穂 理事（神戸市民生協 専務理事）

③平成26年度消費者行政等について

兵庫県企画県民部消費生活課長 有本 方子様

④意見交換



## 単協通信

### 神戸市民生活協同組合

#### 「水道筋商店街」で事業を紹介

9月11日(木)、9月12日(金)の2日間にわたり、神戸市灘区の水道筋商店街にて共済相談会を実施しました。

水道筋商店街の名前の由来は、大正時代に西宮から神戸に水道管が通され、その道沿いが商店街に発展したという、とてもユニークなものです。8つの商店街と4つの市場で構成される、500余りの店舗が立ち並ぶ大きな商店街です。神戸市民生協ではこちらの商店街で定期的に相談会を実施しています。

当日は気軽に立ち寄っていただくようにアイスコーヒーやジュースの無料試飲を行い、神戸市民生協の医療・火災・交通災害・子どもの各共済を紹介した総合パンフレットや、新規加入キャンペーンの案内チラシ等を配布しました。ほかにも、簡単なアンケートにご協力いただくなど、ご要望の把握にも努めました。



商店街の一角をお借りしてPR

地域の方々からは「以前にも相談会を見かけ、共済について興味があったため、今回相談できてよかったです」などのご意見をいただきました。立ち寄られた方も神戸市民生協の相談会をご存じの方が多く、地域へのPR活動が少しずつ実を結んできたように感じました。これからも地域の方々へ親しんでいただけるような広報・PR活動を続けていきたいと思えます。

（通信員 鹿田裕子）

## 兵庫労働共済生活協同組合

### 兵庫県交通安全協会に

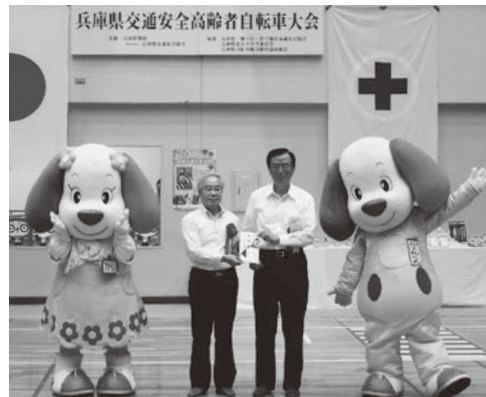
### 「交通安全グッズ」を贈呈しました

全労済兵庫県本部（兵庫労働共済生活協同組合）は、交通安全啓発活動の一環として、「秋の全国交通安全運動（9月21日～9月30日）」にあわせて、「（一財）兵庫県交通安全協会」に対して、夜間における歩行者・自転車乗車中の交通事故を防止するための『交通安全グッズ（反射材）』を10,000個贈呈いたしました。



反射材

これにともない、9月25日（木）にグリーンアリーナ神戸（神戸市須磨区）で開催された「兵庫県交通安全高齢者自転車大会」（主催：兵庫県警察・兵庫県交通安全協会）において、全労済兵庫県本部・菊池専務執行役員より（一財）兵庫県交通安全協会・和田常務理事へ目録の贈呈を行いました。「交通安全グッズ



菊池専務執行役員（左）、和田常務理事（右）

（「反射材」）は、夜間の交通事故発生率が高いエリアを中心に、交通安全協会が実施する様々な地域イベントなどで広く県民に配布されることになっていきます。

全労済兵庫県本部は、マイカー共済事業を行う「保障の生協」として、交通安全の啓発、ならびに交通事故の防止に取り組んでいくことを「社会的使命」と考え、今後も様々な取り組みを行ってまいります。

（通信員 鶴田和彦）

## 近畿労働金庫兵庫地区統括本部

### 「エイブル・アート近畿2014 ひと・アート・まち兵庫」を姫路で開催します

「エイブル・アート近畿」とは、2000年より近畿労働金庫が「エイブル・アート運動」を提唱する一般財団法人たんぼの家（奈良市、播磨靖夫理事長）と協働で毎年近畿各府県を巡回開催している美術展のことで、兵庫での開催は2009年以来3回目となります。

「エイブル・アート」とは、障がいのある人たちが生み出した作品を（可能性の芸術「エイブル・アート」として提え、芸術と社会の関わりを考えていくための市民活動です。作品には、観る者に元気や懐かしさや癒しを与える芸術本来の持つ力があり、私達をひきつけます。また、障がいのあるなしにかかわらず、こうした作品をきちんと評価し社会的な位置づけ

けを高めることが「エイブル・アート」の趣旨でもあります。

今回の開催にあたっては、取り組み趣旨に賛同いただいた兵庫県下の購買生協さんにも広報等で協力いただき、特にコープこうべさんでは高砂×相生の一部の店舗で絵画の出張展示（プライベート美術館）も開催されています。

秋が深まり、散策には適したシーズンです。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

（通信員 井奥眞貴子）



開催期間：2014年11月22日（土）～30日（日）  
※オープニングセレモニーは21日（金）15時～  
JR姫路駅前キャッスルガーデン北広場にて  
開催場所：JR姫路駅北側エリア、レウラ  
ラ姫路二階町、納屋工房、キャッスル  
ガーデン・中央地下通路、播磨国総社御門2階等

#### 展示企画

- ◆「姫路アートモール～笑顔に会うまち～」  
播州地域の障がいのある人の優れた作品、および作者や作品が生まれる物語を紹介します。
- ◆「ウェルカム！姫路展」（22日～24日）  
JR姫路駅中央改札前スペースで皆さまを歓迎する作品を展示します。
- ◆「ヒトのカタチ・プロジェクト」  
ワークショップ+展示。自分の身体の形にラインを引き、いっとりどりの色彩で埋め尽くします。
- ◆「世間遺産@ひめじ」  
ワークショップ+展示。姫路の街を地域の子どもたちとカメラを持って歩き、好きな風景を「世間遺産」として展示します。
- ◆「まちの記憶」  
姫路で働く人、暮らす人へインタビューを行い、写真や似顔絵とともに今を生きる生の物語を紹介します。
- ◆写真展「手に職！」  
播州地域の働く人の身近な仕事道具と、道具にまつわるエピソードを展示します。  
※内容は変更する場合があります。予めご了承ください。

お問い合わせ先：エイブル・アート近畿事務局  
一般財団法人たんぼの家（岡部・藤村）  
TEL 0742-43-7055  
E-mail ableart@popo.or.jp



# 協同組合のかけ橋

## JF (一財)兵庫県水産振興基金

### ノリ採苗 はじまる！ ～ JF 兵庫漁連で約 60,000 反を作業～

ノリ採苗は、気温が下がってきた9月下旬から各浜で行われ、瀬戸内の秋の風物詩となっています。



JF 兵庫漁連 顕微鏡担当者はスピードと正確性が必要(山田 隆義会長)では、明石市の兵庫のり研究所と淡路のりセンターの2か所で9月26日(金)から作業が始められました。カキ殻に付着したノリ胞子を半年以上かけて育てたのち水槽に吊るし、胞子が出る時間帯に水車に巻いた網を回転させて付着させるのが採苗作業です。水温や光の量、胞子の状態などが日々変化するため、毎日、同じようにならない難しさがあります。

台風一過で晴天となった10月7日(火)、取材に訪れた淡路のりセンターでの作業は順調に進んでおり、次々に水車の網が外され、職員やパートの皆さんらは忙しく作業に追われていました。

同センター 中谷 明泰所長は「現在のところ、水温、栄養塩とも平年並みで推移している。今後はまとまった降雨があれば」と話し、今後の天候にさらなる期待を寄せていました。

今後10月中旬まで休みなく続けられ、2か所あわせて種網約60,000反の作業を終える予定です。

いよいよ本格的なノリ養殖漁期が始まりました。今年の豊漁を願ってやみません。



朝日が差すなか順調な作業となりました

## JA グループ兵庫

### 協同の力で復興を 丹波市豪雨災害でボランティア活動

8月16～17日の集中豪雨により、丹波市は土砂崩れや浸水など甚大な被害を受けました。丹波市が9月15日に発表した被害状況調査によると、市内の住宅被害は、2540戸、農地の土砂堆積は140ヵ所に上りました。復旧のため、JA 丹波ひかみは8月19日、JA 職員による災害ボランティアチームを結成し、活動を開始。それに伴い、兵庫県内のJA・連合会などの関係者も連日、豪雨被害を受けた被災者を「協同」の力で支援しようと、丹波市のボランティア活動に参加しました。

住宅が床下浸水した同市春日町山田の80代の男性は、「80年間ここで暮らしているがこんな被害は初めて。人手がないのでJA 職員には大変感謝しています」と話しました。

ボランティアに参加したJA 職員は、「組合員さんが大変な被害に遭われていて、少しでも役に立てて良かったです」などと話しました。

また、9月6日から同JAでは復興に向けて稲刈り支援を始めました。特に被害が大きかった同市市島町では稲刈りの最盛期を迎えましたが、田んぼに土砂やがれきが混入して自力での稲刈りが困難な農家も多くなります。JA 職員や子会社の(株)アグリサポートたんばの社員らは依頼のあった農家の圃場で流木の除去や倒伏した稲を起こしながら稲刈り作業を行いました。



ボランティア活動に精を出す職員ら



最近の消費生活相談事例

## 水回りの修理サービスを 依頼したら思わぬ高額に！

### 事例

新聞の折込広告で見た事業者に、台所の蛇口の水漏れ修理を依頼した。現場を見た事業者から、「給水管をすべて取替える工事が必要だ」と言われて、30万円で水道工事を契約したが、あまりに高額なので解約したい。

### 【アドバイス】

訪問販売で契約した場合、8日以内であれば無条件で解約できるクーリング・オフ制度があります。ただし、消費者から事業者に来訪を要請し、依頼した修理のみを契約した場合は、訪問販売には該当しません。

しかし、事例は蛇口の水漏れを修理してもらうだけのつもりだったのに、給水管の取替工事を勧められ契約しています。この場合、来訪で要請した内容（蛇口の修理）ではなく、訪問販売による新たな契約（給水管取替工事）と考えられる場合は、クーリング・オフができる可能性もあります。

事業者に来訪を依頼するときは、出張費が必要か、見積費用はいくらかなどをしっかりと確認しておきましょう。

作業前には、水漏れの原因や作業内容、費用等の説明を十分に聞きましょう。修理を依頼した事業者から、「設備を交換しなければ直らない」と言われても、すぐに契約せず、まずは応急処置を頼み、その上で、複数の事業者に見積もりを依頼しましょう。

事業者のサービス内容や請求内容に納得できない場合には、最寄りの消費生活センターに相談してください。  
(兵庫県生活科学総合センター)

# MOVE

## 協同組合の仲間が交流

### 「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」を開催

県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、1984年に設立、昨年、創立30周年を迎えました。これを記念して各協同組合の事業と活動を学び、次世代の職員が集い、顔の見える関係を築くことを目的に「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」を実施。今年度は阪神・淡路大震災20年を迎えるにあたり、防災・減災の意識向上を図ることを目的に9月26日(金)に開催し、34人が参加しました。賀川記念館 参事 西 義人氏が「賀川豊彦がめざした愛と協同の社会とは」と題して講義。「“不易・流行”。組織の理念など、変えてはいけないことと、変化対応が必要なことがある。協同組合は、本質的なものを忘れず、そのバランスをきちんと保つことが大切です」と話されました。その後のミュージアム視察で賀川豊彦の足跡をたどりました。次に、「人と防災未来センター」では、研究部長 村田 昌彦氏が「阪神・淡路大震災の教訓と次なる災害への備え」と題して講演。続いて、学習と体験の展示ゾーンもご案内いただき、防災・減災についての学習を深めました。

また、ワールドカフェでは「協同組合の助け合い・支え合いについて」の意見交流が行なわれました。参加者からは、「日々の仕事に追われるなかで、このようなテーマについて考える機会となり勉強になりました」「自分自身が協同組合で働くことの意味を考えたい」などの意見が寄せられました。



賀川豊彦の思想と業績についての講義 (賀川記念館)



巨大地震への備えについて講義される村田昌彦 研究部長 (人と防災未来センター)



防災・減災の実践的な知識を学習 (人と防災未来センター)



視察の体験や学習のまとめをワールドカフェで行いました



多くの資料から賀川豊彦の足跡をたどりました (賀川記念館)

## 県連日誌

11月4日(火) 兵協連第2回医療生協部会 (県民会館 ばら)

11月6日(木) 兵協連第17回監事研修会 (県民会館 304)

11月12日(水) 兵協連第2回共済生協部会研修会 (県民会館 ばら)

11月13日(木) 兵協連第3回生活問題研究会 (県民会館 ばら)

11月18日(火) 兵協連第4回生活協同活動委員会 (県民会館 ばら)

11月25日(火) 兵協連第2回保健・医療・福祉研究会 (県民会館 ばら)

### 編集後記

今年の「兵庫県生協大会」、「ポスト国際協同組合年を考える集い」は、「阪神・淡路大震災20年」がテーマ。「備え」が大切と、休日に神戸市内で行われた「防災イベント」に参加。「毎月17日を防災・減災の日に！」を県民に呼び掛け開催されました。「防災体験スタンプラリー」では広告チラシでつくる紙食器の折り方や備蓄品の試食、ミニ防災検定やAEDの心臓手当講習にトライ。減災ゲームでは自分が災害時に持ち出す備品のカードをたくさんの中から数枚選び、その重量を計算して、用意された同じ重さのリュックを背負ってみるといふもの(ちなみに私は10キロにもなり、後ろに倒れそうになりました)。各ブースをまわっていると、Sテレビさんからインタビューのお声かけが!ドキドキ。2週間後、放映されたTVを見て「あ、前日に顔のバックしておけば良かった」と、日常のいろんな意味の「備え」を考える秋の一日でした。(中尾)